

# 社協だより

## ONAGAWA



障がいを持った  
当事者から学ぶ  
ふくしのこころ

10月13日(金)女川小学校3年生を対象に福祉教育の授業「みんなにやさしい町～車イスを体験してみよう」が行われました。

ゲストに「女川港大漁獅子舞まむし」の青山実さんを迎え、足に障がいを持つ当事者としての思いを子ども達にお話しいただきました。

そして巧みな車イスの操作から、松葉づえや装具を使っ  
ての太鼓演奏と、一人で車に乗り込むときの実際の動作も見せていただきました。

障がいがあっても、支えや工夫次第で健常者と変わらず出来ることや、当事者の切実な思いや、必要な手助けの仕方も知ったことで、子どもたちの障がい者に対するイメージが豊かに広がり、より身近な存在に感じられるようになったのではないのでしょうか。

人を助けられるやさしい気持ち「ふくしのこころ」を子どもたちが育み、大きくなってもそのことをずっと忘れずにいてもらえるような素敵な授業になりました。



# 12

DECEMBER.2017

# 地域づくり会議を行っています！



10月31日(火)針浜区地域づくり会議

区長・各推進員・民生委員等の方々にお集まりいただき、女川町健康福祉課・女川町保健センター・女川町包括支援センター・女川町社会福祉協議会・生活支援コーディネーター・ここから支援員の担当者たちで、今後の地域のあり方について住民のみなさまと話し合う場「地域づくり会議」を各地区で行っています。

29年度でここから支援員の配置が終了すること、および生活支援コーディネーターが女川町に2名配置され、その役割の違いについても、この場で説明させていただいています。

話し合いの際には「地域の良いところ」「地域の課題」というテーマ

で住民の皆様からご意見をお聞きしております。

実施済みの各地区から挙がってきたご意見を集約して、一部紹介いたします。

地域の良いところ	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜のおすそ分けをしている。</li> <li>・見守りの声かけをして、話を聞いている。</li> <li>・地区の見守り合いが出来ている。</li> <li>・仲が良い。</li> <li>・隣近所で「何かあったら声をかけてね」と言い合っている。</li> <li>・顔を見たらあいさつする。</li> <li>・一人暮らしが多く、お互い気に掛け合っている。</li> <li>・台風の時に声かけをしてくれる人がいて、一緒に集会所へ避難できた。</li> <li>・お互い住民同士が助け合っている。</li> <li>・行事に参加できなかった人にもおすそわけを届けたりしている。</li> <li>・子どもの数は少ないからこそみんな仲よし。</li> <li>・環境が良く、住みやすい。</li> <li>・行事が楽しい。</li> <li>・ペタンクをしながら健康づくりをしている。</li> <li>・住民の横のつながりが良い。</li> <li>・協力的な人が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集まりに出て来る人はいつも同じ。</li> <li>・行事に参加しない人にも出てきてもらいたい。</li> <li>・気軽にお茶のみで行き来しなくなった。</li> <li>・近所づきあいが薄れてきている。</li> <li>・若い世代の地域への関わりが薄い。</li> <li>・男の人が出てこない。</li> <li>・子どもの声が聞こえなくて寂しい。</li> <li>・地区内の子ども達と面識がない。</li> <li>・昔は子供会があり、行事も盛んに行われていて、子供神輿・遠足などもあったが、出来なくなった。</li> <li>・新しい役員の成り手に不足している。</li> <li>・区の中で活動する人の多くが現役世代で平日動くのが難しい。</li> <li>・高齢者が多くなり、誰でも参加できる会が必要。</li> <li>・自然災害時に不安を感じる。</li> <li>・防災訓練・避難訓練が必要。</li> <li>・大雨など災害に備えた普段の環境整備が必要。</li> <li>・近くに商店が無いので不便。</li> <li>・坂道が多く、高齢者にとっては大変。</li> </ul>

## ▷生活支援コーディネーターとは？

生活支援コーディネーターは「地域支え合い推進員」とも呼ばれ、みなさんが住む地域の支え合い活動を発掘したり、新たな支え合い活動の支援を行います。

誰もが支え合いながら暮らせる女川、あたたかい地域づくりのお手伝いをいたします！  
どうぞ、ご相談ください！

## 《生活支援コーディネーターってどんなことができるの？》

### ①一緒に始めっぺし・やっぺし

- お茶会の立ち上げをお手伝いします。
- 地域の情報を収集して、提供します。
- 地域のマップ（地図）づくりをお手伝いします。（集いのマップ・暮らしのマップ・防災マップ等）
- 地域の見守り・支え合い活動の立ち上げをお手伝いします。

### ②みんなで繋がってっぺし

- 地域で暮らす人・支援をする人・各種専門機関・福祉サービスなどへの繋ぎ役になります。
- 楽しい「ワイワイ・ガヤガヤ」の集まりの場同士を繋ぎます。
- 協議体（住民を含む協議の場）に参加して、共に考え、アイデアを繋ぎます。

### ③いいものみ〜っけ！

- 「地域のお宝」ってなんだろう？  
みなさんの身近にお宝がいっぱい！  
人や地域が持っている支え合いの力＝お宝を探しています。
- 見つけたお宝をポスターにして、町内に支え合いの輪を広めます。

# うみねこ園だより

10月17日、今年もつばくろ会のみなさんとの「りんご狩り」に、女川原子力PRセンターへ行ってきました。

と言っても今年りんごが不作ということで、さつまいもと大根の収穫が主。それでも、今年もつばくろ会のみなさんと一緒にチームに分かれて収穫を競ったこともあり、そんなことは気にすることなく一喜一憂しながら収穫していました。

また、行き帰りのバスの中でも、つばくろ会のみなさんとレクリエーションをしたり、歌を歌ったり…と車中も満喫した様子。

収穫したさつまいもと大根、そしておみやげにいただいたりんごを手に、疲れも見せず家に帰った利用者さんたちでした。

女川原子力PRセンターのみなさん、つばくろ会のみなさん、ありがとうございました。

## 今年の主役は・・・！



## ミニ遠足へ行こうっ！



10月30日は小学校が振替休校日ということで、サン・ファンパークへ野外活動に行っていました。実は、今回がはじめての野外活動となる利用者さん。女川駅から渡波駅まで電車での移動となりました。車内では、不安気な顔も見られましたが、外の景色を眺めながら到着まで座ることができました。渡波駅からは、うみねこ園の車でサン・ファンパークへ向かいました。残念な事に、サン・ファン・バウティスタ号の船内は老朽化の為、見学することが出来ませんでした。外の小高い丘や原っぱを走り回ってみたり、落ち葉を拾い風を利用して遠くまで飛ばしてみたりと、園内では経験できないことが味わえたひとときでした。

後日、保護者の方々にお家での様子など伺ったところ「疲れもなく、また行きたいと話していましたよ」とのこと。その日から数日は電車が忘れられなくなり・・・何度も「電車に乗ろう」と誘ってくれました。

また行こうね。

## 『民話のつどい』

11月初め、うみねこ園にて「民話のつどい」が開催されました。このつどいは、民話の語り部である安倍ことみさんに来ていただき、いろいろな民話を披露してもらおうというもの。

震災前にも何度も来てもらっていたのですが、この度、久しぶりに民話を披露してもらったこととなったのです。

初回は「かかしの足と犬の足」「宝の手ぬぐい」など3つのお話を聞かせていただきました。安倍さんの女川弁で披露される民話に、ついつい笑ってしまったり、なかには感動した面持ちになる利用者さんも。

今後も定期的に披露していただけることになり、楽しみにしている利用者さんたちです。



# ボランティアセンターだより12月号

※ボランティアについての各種問い合わせはこちらへ→ 0225-53-4333 (担当: 矢竹拓)

## 支え合いゲームが新たな形に

前回ボランティア向けの「支え合いゲーム体験会」で初めて支え合いゲームを実施した際は、災害時を想定した内容で行いました。

次に11月9日(木)ぴんぴん元気推進塾(包括支援センター主催)の受講者向けに実施した支え合いゲームでは、地域の中で普段起こるさまざまな住民の困りごとを解消し合う、という内容に作り変えました。災害から普段の暮らしに支え合いの設定を変えたのです。



カードを選ぶところから

受講者はいずれも地域の中で既に何かしらの担い手になっている意欲的な方々でしたが、初めて経験する支え合いゲームに戸惑いを感じておられる様子でした。

しかし最初に、それぞれ自分の選ばれた「住民カード(役割)」に対応した「助けてカード(困りごと)」を選ぶよう指示したところ、見事に役割に応じた困りごとを選んでくれました。このことは非常に重要な意味があります。なぜなら自分と違う立場の人が、どのような困りごとに見舞われるかが想像できる、ということだからです。

▶実際に選ばれた役と困りごとの組み合わせ(一部)

役割	困りごと
無職男性30歳	醤油を貸して欲しい
90歳の独居男性	書類の書き方がわからない
80歳認知症の独居女性	自分が誰かも判らず、家も判らず、助けて欲しい
乳幼児を抱えた主婦20歳	保育所に子供を送迎して欲しい
おせっかいなおばさん70歳	認知症家族の介護に疲れた
男子大学生20歳	何かボランティアがしたい、人の役に立ちたい
70歳の独居男性	高齢者で旅行に行くので、誰か付き添って欲しい
ひきこもり20歳男性	話し相手がいないので、さみしい



困りごとを出し合います

そしてゲームがスタート。自分の困りごとを解消してくれそうな相手を探して、交渉していただきました。直接困りごとを解消できなくても、解消できる窓口を紹介できれば、それでも十分です。解消できないと思

ったら「出来ない」と正直に答えることも大切です。受講者の皆さんが真剣に自分ごとに捉えて、困りごとの解消に取り組んでくれました。中にはお互いの困りごとを交換するような支え合いや、こちらの想像を超えたユニークな支え合いの形も生まれ、住民による多様な支え合いによって、誰もが暮らしやすい地域づくりが実現することをゲームを通して実感することが出来ました。

## 麻雀ボランティア追加募集中

永楽会おながわのデイサービスで、利用者と一緒に楽しく麻雀をしていただける方を募集しています。



楽しむための健康的な麻雀

毎週土曜日の午後に行っておりますが、都合のつく日だけで構いませんので、麻雀の経験者はぜひ一度チャレンジしてみてくださいはいかがでしょうか？

和やかな雰囲気、麻雀を通した仲間づくりにもなりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

日程 土曜日の午後13時00分～15時  
場所 永楽会おながわ

## 新企画！女川町民ボランティア紹介コーナー いがすと！ボランティア⑧

こやま よし えつ  
小山 芳悦さん (61歳/上5区)

病氣治療の後遺症で骨がもろくなり、背骨の圧迫骨折を起こして長期の自宅静養を余儀なくされていた小山さんをリハビリ担当者から紹介されたのは3年前の11月のことでした。



ほどなく社会参加としてのボランティア活動に、パソコンの操作指導や録音物の書き起こし等で力を発揮され、今ではさらに多様な活動に参加いただくまでになりました。

現在は永楽会のデイサービスで行っている麻雀ボランティアとしても、利用者の麻雀相手となり、皆が楽しめるように時にはサポートに徹して、麻雀を通した生きがいの場づくりに貢献されています。

また社会福祉協議会で立ち上げた女川の福祉教育を考える「福祉教育推進事業運営委員会」の委員に就任され、障がいを持つ当事者としての目線で協議の場に参加いただき、女川小学校の児童たちや地域の担い手向けに行っている福祉教育の現場でも、心強いサポーターになっていただいています。

当時は「毎日ベッドの上で自宅の天井を眺めている他なかった」と言う小山さん。今アクティブに活動され、福祉関係者や他の委員と会議で意見を出し合う姿は活き活きと輝いています。

自分の身に起きたことを小山さんは「良いか悪いかの結論は出ていないが、考えるきっかけになった」とおっしゃっています。またボランティア活動をすることで「自分自身が救われている」とも。

紹介されてから3年の経過を経た今、私たちにあって、なくてはならない女川町の福祉意識を高める仲間の一人になってくれました。

お坊さんによる講座

## 『和菓子づくり』

毎年、講師を務めていただいている全国日蓮宗青年会（日青塾）の皆さんによる『和菓子づくり講座』です。終わったあとは、お菓子を食べながらゆったりとお茶の時間になります。ぜひ、ご参加くださいませ。

1. 日時 平成30年1月30日(火)午後1時から
2. 場所 女川町地域福祉センター
3. 参加費 1,000円【見込み】
4. 申込先 女川町社会福祉協議会  
TEL 53-4333  
1月12日(金)までお申込ください。  
なお、詳細については、次号(1月号)をご覧ください。



## 『救急医療情報キット』を備えている皆さまへ

各ご家庭に本会から配布を受けた情報キットを備えている方も多いことでしょう。このキットは、今お飲みのお薬などの情報をプラスチックの筒に入れ、冷蔵庫に備えておくと、救急隊の方などが来た際に、迅速な対応ができるというもの。

**ただし、この中に入れる情報の更新が重要です。**

有効に活用いただくためには、中に入れるあんしんカードや処方箋はなるべく直近の情報である必要があります。あんしんカードは本会にありますので、更新が必要な際にはご連絡いただければ新しいものをお持ちします。また、記入などのお手伝いもさせていただきますので、お声がけくださいませ。

## 土日無料法律相談会

生活のなかで様々な悩み事などを抱えている方も多いと思います。法テラスでは、平日働いている方のために土日の相談会を開催しています。一人で抱え込まず、ぜひこの機会にご活用ください。

土日相談実施日時

9日(土)・24日(日)10時～16時

場所：法テラス東松島

(東松島市矢本字大溜1-1コミュニティセンター西側)  
※お住まいの場所に関係なくどなたでも**無料**で相談できます。(事前予約の方が優先となります。)

予約・問合せ先 法テラス東松島

Tel. 050-3383-0009

(受付:平日9時～17時/相談:平日10時～16時)

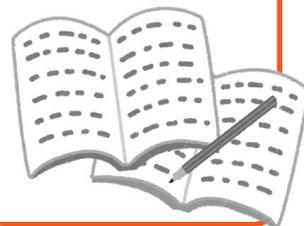
H30年度

## 「宮城いきいき学園」学園生募集

宮城県社会福祉協議会では、下記のとおり平成30年度学園生を募集しております。

- 対象 県内に居住しているおおむね60歳以上の方で、健康で学習意欲があり、2年間継続して受講可能な方。
- 会場 石巻校(東松島市コミュニティセンター)
- 募集人員 40人  
(定員を超えた場合は先着順で決定します)
- 学習日 年間22日(2学年制)
- 内容 生きがいと健康づくりを目指し、地域社会に貢献できる人材として必要な内容を身につける。
- 募集期間 平成29年12月1日(金)  
～平成30年2月28日(水)必着
- 入学受講 入学金 5,000円  
受講料年間 20,000円
- 申込書 本会窓口に設置しております。
- 問合せ先 宮城県社会福祉協議会 いきがい健康課  
(電話022-225-8477)まで

女川町の方も  
受講しています。



## ゆぼっぼ健康講話『何でも健康相談会』

日時 12月19日(火) 16:00～17:00

場所 ゆぼっぼ2階休憩室

毎月第3火曜日は、女川町地域医療センター医師が健康に関する相談に応じます。

当日は、健康相談会にお越しいただいた方は、**入浴料500円→250円**とお得に入浴できます。みなさん、ぜひお誘いあわせのうえお越しください。

女川温泉ゆぼっぼ TEL.0225-50-2683

(営業時間:9:00～21:00)

※町民バス回数券をフロントにて好評発売中!

## 皆様の善意に感謝申し上げます

(10月11日～11月10日受付分)

寄附金 (敬称略) 単位：円

行政区	氏名	金額
大原	女川町商工会工業部	25,870
滋賀県	相沢節子	10,550
東京都	株式会社ブリッジ	25,000



介護支援専門員  
相澤 佳次郎

## NEW FACE

～職員紹介～

この度、女川町地域包括支援センターに配置となりました。皆さま、どうぞよろしくお願ひいたします。

ご存知ですか？!



## 「12/3国際障害者デー」と 「12/3～12/9障害者週間」

12月3日は国際連合の国際デーの一つである「国際障害者デー」です。

1992年の国連総会で毎年12月3日を国際障害者デー (International Day of Persons with Disabilities) とすることが宣言され、加盟国に対し、障害を持つ人々の社会参加を一層促進するため、この国際デーに重点を置くよう呼び掛けがなされました。

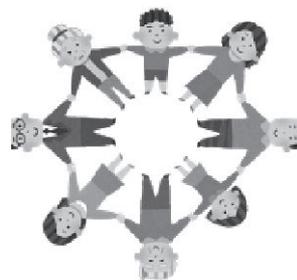
日本では、この国際デーが出来る以前に12月9日を「障害者の日」と定めていた関係もあり、12月3日から12月9日までを「障害者週間」として次のように『障害者基本法』にも規定しています。

### 【障害者基本法】

第9条 国民の間に広く基本原則に関する関心と理解を深めるとともに、**障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加することを促進するため**、障害者週間を設ける。

- 2 障害者週間は、12月3日から12月9日までの1週間とする。
- 3 国及び地方公共団体は、障害者の自立及び社会参加の支援等に関する活動を行う民間の団体等と相互に緊密な連携協力を図りながら、障害者週間の趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

このように、国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めるための様々な取組みが行われています。



## 12月の介護予防「地域遊びリレーション・ふまねっと」

実施内容については 地域遊びリレーション  ・ふまねっと  となります。

地区	日時	地区	日時	地区	日時
大 沢	11日 13:30	上 四	お休み	宮 ヶ 崎	18日 9:30
浦 宿 一	12日 13:30	上 五	4日 13:30	石 浜	4日 9:30
浦 宿 二	お休み	西 二	26日 14:00	大 原 南	20日 9:30
浦 宿 三	お休み	野 球 場	お休み	女 川 南	15日 9:30
針 浜	18日 13:30	運動公園住宅	7日 9:30	女 川 北	12日 9:30
旭 が 丘	14日 9:30	日 蕨	お休み	出 島	5日 9:00
上 三	お休み	小 乗	11日 9:30	内 田	25日 9:30

赤い羽根共同募金 10月1日から赤い羽根共同募金がはじまっています。